

令和6年度 米沢市協働提案制度補助金 審査結果一覧

No.	提案回数	提案者名		提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の名称	総事業費 (円)	補助希望額 (円)	関係課	採否
1	継続（2年目）	米沢御堀端史蹟保存会	会長 関原 謙一	上杉衆 これぞ芋煮会	この芋煮会は、参加者が自分で竈に火をくべ、自分で料理する体験型芋煮会です。 米沢藩の時代雰囲気を出す会場設営と、「さすが米沢牛仕立て」といわれる、タッブリ米沢牛を使った芋煮鍋を提供します。 人口減少は大きな問題であり、観光客増で活性化を図る自治体は多い。山形市の芋煮会は全国的に知られるようになり、市民の楽しみの他に観光客の誘致にも貢献していると思われる。 が、山形市のように主催者が調理して提供するのでは情緒がないので、自ら調理する体験型大芋煮会を企画し、米沢の芋煮を味わいたいとする訪問者を増やしたい。 【令和6年度】 ・米沢の食文化を紹介する小冊子を作り、スポンサーによる広告収入を計り、又それらを販売することにより収益を得る。	市民発案型	－	800,000	500,000	観光課	採択
2	新規	特定非営利活動法人 雲井龍雄顕彰会	理事長 屋代 久	幕末米沢藩士、憂国の士「雲井龍雄」の顕彰と広報活動	雲井龍雄の偉業、足跡を表した冊子を制作し、同時代の幕末米沢の歴史を顕彰しながら、市内の小、中、高校に配布し、地域の歴史、文化の保護を活性化しながら人材の育成と定着を市民と学生、生徒達に伝えてゆきたいと考えています。 雲井龍雄の菩提寺は林泉寺に近い「常安寺」にあります。境内には大正時代の米沢市民有志の方々により建立された墓と、昨年我々「雲井龍雄顕彰会」が建立した銅像が山門に建っています。訪れる観光客の方も多く見られます。残念なことに境内の案内板が未整備になっており、新たに看板を設置したいと考えています。この資源を活用することで観光振興の一助になれば期待しています。 詩人としての雲井龍雄の漢詩は今なお全国の詩吟愛好家の方々に吟じられています。これらの方々にも雲井龍雄と米沢を顕彰した冊子を通して情報発信し、芸術文化の振興と合わせて同人コミュニティ形成と参加促進に寄与できると考えています。	行政課題型	5. 市民と学生の交流推進 13. 地域資源を活用した観光の振興 20. 芸術文化の振興	1,000,000	500,000	社会教育文化課 観光課	採択
3	新規	Zero Waste Walk	代表 青山 浩子	気候変動・環境問題を一緒に考え解決のために広がるゴミ拾いコミュニティ事業	Zero Waste Walkに参加される方との交流で、米沢市民の多くは、気候変動・環境問題への理解 が形成されていないと感じる。しかし、気候変動という言葉は今や、気候危機→気候破壊と言葉 を変え、人が安全に暮らせない地球へと刻一刻と差し迫っている。そこに危機感を抱き、まずは 知ってもらい理解を深め意識の変革を目的とし、ゴミ拾い活動やイベント、チャリティーグッズ販売 などを通じて市民の方々と一緒に考え、環境を良くしエンシカル暮らしにシフトしていくことを目指す。	行政課題型	6. 環境問題等の解決のための連携の推進	700,000	500,000	環境課	採択
4	新規	特定非営利活動法人 から・ころセンター	代表理事 伊藤 正俊	子どもの居場所～生きる力・生きていく心を育む場所～を米沢に	ここ数年全国的に小学生・中学生の不登校や行きしがりの児童・生徒が増加傾向にあり、令和4年の統計では29万9千人で過去最多と発表があった。当市においても身近なところで不登校や経済的貧困、親の精神的不安定、ヤングケアラー等の課題を抱え、大切な成長期間を孤独に過ごしているという声も聴くことも多くなってきている。この事業では家庭や学校だけでは補いきれない「体験活動」や「安心して過ごせる環境」を地域でカバーする『子どもの居場所』の充実を目指す。	行政課題型	8. 子育てに寄り添うまちづくりの推進	543,500	500,000	こども家庭課 学校教育課	採択
5	新規	猫のひなたぼっこ	代表 後藤 学	不幸な命を増やさない、猫と人が共生できる地域創生事業	米沢市内の野良猫、捨て猫はとても多い。猫の繁殖力はとても強く、計算上は、1頭のメス猫が1年で20頭、2年で80頭以上に殖えることが可能である。野良猫の寿命は3、4年と言われているが、それでも多くの野良猫によって、糞害に困っている人、近所でたくさん増えて困っている人がある。一方、単に餌だけやって野良猫の繁殖につながっている事例も多い。 また、最近では猫の虐待や、飼い主がいなくなった多頭飼育崩壊で行き場のない猫に困るという事案も多い。 そのような中で、米沢市の場合は、公的な補助金がないため、自分で費用を負担して避妊や去勢手術を行い、自宅の内猫として保護して飼育したり、外猫として世話をしたりしている人が多いのが現状である。 これらの現状に対して、個人で取り組んできた有志で、上記のような課題がある市民に対して、アドバイスをしたり、避妊・去勢手術の補助金を含めたサポートを行ったり、望まれない命を増やさない、繁殖を低減していく取組を行ってきたい。	市民発案型	－	500,000	500,000	生活安全課	採択
6	継続（3年目）	鷺城史跡保存会	会長 佐藤 俊弘	鷺城および関連史跡の保存活用	鷺城とその周辺には戦国時代中期の火縄銃が主戦術になる前の伊達時代の山城の典型的遺構や独特な防御遺構が、ほぼ近代の改変を受けずに残っており、その大きさは米沢あるいは置賜、山形を代表する大規模なものであります。この史跡を後世に保存伝承していくことが、我々の責務と考えております。 1. 遺構を毀損しない見学道を整備し見学や整備が安全にできるようにする。 2. 有識者を招いて山城の価値を見直す講演会、見学会を行ない、鷺城の認識を広める。 3. 山城遺構の精密地形調査、発掘調査や専門家の検討会を行ない遺構の価値を明確にする。（長期課題） 4. （継続課題）老化した山林の倒木枯損木の発生に対応する。 5. 年代を推測できる板碑に亀裂が進行し一部が欠落したので、亀裂箇所と覆屋根による保護を行う。 【令和6年度】 ・対外発信 ：山城関係の著名人の講演や見学会を通して鷺城の存在や価値を市内外に広める。 ・雪の山城ツアーが観光資源になるかの試行－観光課と連携する。 ・安全等整備 ・倒木枯木処理を継続。委託作業＋補助者。 ・亀裂進む板碑の保護として亀裂補修を行い、覆屋根を設置。 ・遺構の見栄えを改善。溝掃除、清水の掘出し、藪払い、倒木処理 ・次年度以後に繋ぐ ・城域の保全の手段を模索する。森林整備の視点で行政や地権者との協議 ・市の歴史遺産としての認定を得る。	行政課題型	13. 地域資源を活用した観光の振興 21. 文化財の保存と活用	655,410	500,000	観光課 社会教育文化課	採択
7	継続（3年目）	スノーラーメン協会	会長 横山 昭子	「スノーラーメン」～米沢の冬と米沢ラーメンの魅力を世界に発信するための、新ブランド開発とプロモーション活動～	<米沢ラーメンの新ブランド スノーラーメンの魅力を世界に向けてプロモーションすることで米沢市へのインバウンド観光客の増加に繋げる。> 1 外国人をターゲットとして新たなラーメンを開発することによって、米沢市にすでにある米沢ラーメンの魅力と、新しい視点で作り上げるスノーラーメンをリミックス・コラボレーションして世界に発信し、インバウンド観光客増加に繋げる。 2 スノーラーメンと米沢の雪を活用したインバウンド向けツアーの開発を行い、食と観光を組み合わせた新しい観光手法を開発し、米沢の冬のインバウンド旅行客の直接的増加を目指す。 3 米沢市で生産された農作物等を使って商品・レシピを開発し、米沢市の食の魅力を世界に向けて発信することで米沢の食文化と生産者の皆様の発展に繋げる。 4 米沢市の企業・飲食店・学生・市民・米沢市に在住、滞在する外国人・市（行政）が協力して米沢の新たな名物を作り上げることで、地域の絆を深めるとともに、異文化との交流を促す。 【令和6年度】 1. 外国人観光客誘致につなげるために、米沢の新ラーメンブランド「スノーラーメン」の更なるメニュー開発 2. 米沢の「かてもの」をはじめとする「農・食」文化に根差したインバウンド向け体験ツアーの醸成 3. 生産者・事業者での「プラントベース・ムスリムフレンドリー」の推進 4. 子ども食堂 X 食育を通して、食の多様性を広める活動 5. 「まちづくり」講座から発展したスノーラーメンプロジェクトの集大成と、米沢市の地域振興をさらに進めるために、市民参加の講座を開催。	行政課題型	13. 地域資源を活用した観光の振興	500,000	500,000	観光課 農政課	採択
合計								4,698,910	3,500,000		